

介護従事者への

定期的無料PCR検査開始

高齢者施設などでの集団感染が社会的な課題となつている昨今、寝屋川市は、高齢者施設などでの新型コロナウイルスの集団感染を防ぐため、特別養護老人ホームと障害児者入所施設の介護従事者774人(現時点)に、2週間毎の定期PCR検査を2月1日から開始する。各施設での検査日の指定、検体の受け渡し、検査機関への配送は、保健所が起点となる。検査結果は2日後に施設へ報告。陽性の場合、直接本人へ連絡する。費用は市が全額負担



市職員からPCR検査キットが入った保冷容器を受け取る、(社福)栄光会「寝屋川十字の園」山田和広・理事長(右)と谷井昌代・事務長(左)

施策をしてくださったと感謝しています。万全の体制をとつて取り組みたい」と語った。

(7092万1千円)。期間は3月末まで、来年度も継続予定。

1月26日、同市保健所で、特別養護老人ホーム「寝屋川十字の園」山田和広理事長に検体採取容器や認証用ラベルなどの受け渡しが行われた。山田理事長は「大事な命を預かっている施設なので、いい

介護従事者へのPCR検査は、重症化リスクの高い入所者と日々接する介護従事者の「感染源になるのでは」という心理的負担を軽減し、感染を無症状の段階で見つけ、感染拡大のリスクを減少させる。そして、医療機関の負担軽減にもつながる。